

用語の解説 (五十音順)

か

喀痰塗抹陽性

喀痰検査^{*}の結果、塗抹陽性となった者。

※喀痰検査とは、結核などにおいては、喀出痰により菌を検出することが決定的であり、確定診断と治療効果判定には欠くことのできない検査法のこと。この中には喀出痰の塗抹、分離培養、同定、薬剤感受性試験などがあり、それぞれいくつかの検査方法があります。

感染症診査協議会

感染症法の規定に基づき設置される知事の諮問機関。結核の公費負担申請があった際に、治療の要否、治療内容の適否等を審議し、診査意見を答申します。高知県では、選出された医師（感染症指定医療機関3名、感染症指定医療機関以外1名）、弁護士、保健師の計6名により構成され、適正医療の普及に尽力いただいています。

基幹病院

地域ごとに合併症治療を主に担う病院のこと。

コホート

「コホート」とは、共通した因子を持ち観察対象となる集団を意味し、結核コホート分析では、ある一定期間の間に新たに登録された患者を追跡し、治療期間中の菌所見や出来事を把握する事により、治療成績や患者管理の評価として行われます。

さ

接触者健康診断

感染性の結核患者^{*}と接触のあった者で、保健所が感染性の評価等から健康診断が必要であると判断した者及び初発患者に感染を及ぼした可能性のある者を対象に実施する健康診断のことであり、発病前の潜在性結核感染症の早期発見、新たな発病者の早期発見及び感染源や感染経路の探究の3つを目的に実施します。

※感染性の結核患者とは、喀痰等を介して空气中に結核菌を排出していて、他者へ感染させる可能性のある（感染源となりうる）結核症に罹患した患者のこと。

潜在性結核感染症

結核の発症時に現れる明らかな臨床的、細菌学的またはX線上の所見がない潜在性の結核感染状態のこと。発症前に治療（化学療法）を行います。

た

第2種感染症指定医療機関

2類感染症^{*}及び新型インフルエンザ等感染症の患者の入院を担当する医療機関で、高知県には7ヶ所（平成23年9月末現在）あります。

※結核は2類感染症。

脱落中断

連続60日以上あるいは2ヶ月以上治療を中断した者。また、指示中止（治療完遂）であるが、180日未満ある
いは270日未満の治療であった者。

中核病院

多剤耐性結核や管理が複雑な結核の治療を担う病院のこと。

治療失敗

5ヶ月目以降に喀痰培養検査結果で陽性が1回でもあった者。

DOTS

DOTS（直接服薬確認療法）は Directly Observed Treatment, Short-Course の略であり、5つの要素（①政府の関与、②喀痰塗抹検査を基本とする有症状者の発見、③DOTを使った短期化学療法、④薬剤の安定供給、⑤患者記録と報告に基づく対策実施状況の監視と評価）をもっています。日本では、日本版 21 世紀型 DOTS 戦略推進体系図に基づく DOTS を推進しており、入院中に行われる院内 DOTS と退院後に行われる地域 DOTS があります。

は

病原体サーベイランス

流行早期に病原体を検出し、感染源対策・感染経路対策を講じて流行を最小限に抑えるために実施するもの。病原体に関する情報の収集、分析及び提供等を行う。

や

有病率

年末時点での登録者数をその年の 10 月 1 日の推計人口で割り、人口 10 万対で表したものの。

4 剤治療

「結核医療の基準」に定めた薬剤と期間を指定した初回治療時の標準治療法であり、INH（イソニアジド）、RFP（リファンピシン）、PZA（ピラジナミド）、SM（硫酸ストレプトマイシン）又は EB（エタンブトール）の 4 剤併用療法を 2 ヶ月間行い、その後 INH 及び RFP の 2 剤併用療法を 4 ヶ月間（4 剤併用療法開始時から 6 ヶ月（180 日）を経過するまでの間）行う。

PZA を使用できない場合は、INH、RFP、SM 又は EB の 3 剤併用療法を 2 ヶ月から 6 ヶ月間行い、その後 INH 及び RFP の 2 剤併用療法を 3 剤併用療法開始時から 9 ヶ月（270 日）を経過するまでの間行う。

ら

罹患率

1 年間の新登録患者数をその年の 10 月 1 日の推計人口で割り、人口 10 万対で表したものの。